令和６年度　北海道士別東高等学校　「道徳教育」全体計画

北海道教育の基本理念

●心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む（共生）

本校の教育目標

・自ら学び創造する人
・心豊かな人
・生命を尊び身体を鍛える人
・勤労を愛し最後までやりぬく人

北海道教育推進計画（改定版）

●規範意識や生命を大切にする心
●思いやりの心
●社会性や豊かな人間性を育む

【総合的な探究の時間】

・教科の枠を超えた総合的・横断的な学習を通して、課題を発見し、自ら考え主体的に判断・行動し、問題を解決する資質や能力を育成する。併せて自分の将来像を見据え自らの生き方を考える。また、地域との連携を踏まえた学習活動を行う。

【道徳教育の重点目標】

(1) 自己を大切に思う心や他人の思いをくみ取る力、また生命を大切にし、人権を尊重する心など、豊かな心を育成する。
(2) ふるさとに誇りを持ち、民主的な社会の発展に努める人を育成する。
(3) いじめは絶対にしない、させない心を育成する。

生徒の実態

・リーダーの経験に乏しく、何事にも自信を持てない生徒が多い。
・ふるさとに関する理解が不足している。

【教科・科目】

○各教科、科目の目標を重視しながら学習活動を進める中で、道徳性を養うと共に、いじめの未然防止を図る

国語科	学校という社会で生活することを通して、自分のことばを育み、他者、社会とかかわり合う
地歴・公民科	色々な地域のこと、色々な時代のことを学ぶことによって、様々な価値観を学び尊重する態度を養う
数学科	様々な視点から物事を捉え、論理的な思考のもと、判断を行おうとする
理科	生命や自然を大切にする心を育むとともに、科学的な見方や考え方を通して正しい判断力を養う
外国語科	文化や価値観の違いを認識し、互いに尊重しあう態度を養う
保健体育科	様々な体験を通して、健康で豊かな活力ある生活を営む力を養う
商業科	人間性豊かな職業人の育成という観点から、生命、自然、ものを大切にする心、規範意識、倫理観等を育成する。
音楽科	演奏や音やリズムに触れ、学ぶことによって、達成感や感動を仲間と共有する
情報科	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用し、情報社会のルールやマナー、情報モラルを身につける
家庭科	自分をとり囲む家族・社会・環境などに目を向け、他者と協力する中で周囲に気を配り、先を見通す力を養う
福祉科	思いやりと助け合いの心をもち、相手の考えを否定せず、仲間と協力する大切さを身につける

【特別活動】

○ホームルーム活動

豊かな心・感性を育むため、体験活動を含めたあらゆる機会を通じ、その実現に向けて努力する。特に他者とのコミュニケーション能力や、好ましい人間関係を構築できる能力を育てる。

○生徒会活動

生徒の自発的・自主的な活動を通して、学校生活への充実感をもち、学校への帰属意識を深める。

○学校行事

集団活動を通して、自己管理能力や社会性を育て、他者を思いやる態度やルール・マナーなど、集団生活や社会生活に不可欠な行動様式を身につけさせる。